

医療面接入門

Medical Interview

薬：K1-19101MY、生命：K1-19101MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 常住 亜衣子(医療コミュニケーション学研究室)

■教育目的

医療面接は、患者さんが自分の健康や病気、治療について理解し、主体的に管理できるようになることを目的として行われる。本科目では、薬剤師が医療面接を行う際に必要な基礎的知識・技能・態度を学ぶ。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①, ③(1年), YD-①, ④(2,3年), SD-④】

■学習到達目標

1. 医療面接の目的、プロセス、薬剤師の役割を説明できる(知識、態度)
2. 患者が「薬剤師と話してよかった」と思う医療面接について考察する(知識、態度)
3. 患者の話を聴く方法を修得する(知識、技能、態度)
4. 患者に情報を伝える方法を修得する(知識、技能、態度)
5. 患者が主体的に薬物治療、健康管理に取り組むための支援方法を修得する(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：授業で扱う疾患・薬物等について調べる、ロールプレイの準備をする(30分-)

復習：授業内容を復習する、配布資料・文献を読む(30分-)

■授業形態

ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習・フィールドワーク、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	オリエンテーション	医療面接とは何か	B-1-2-1～4,7
2	医療面接の基礎1	患者と薬剤師の関係：服薬指導と服薬支援	B-1-2-1～4,7
3	医療面接の基礎2	話を聴く力を養う	B-2-1-1
4	医療面接の基礎3	情報を伝える力を養う①：薬の効果、使用方法の伝え方	B-2-1-1, F-5-1-7
5	医療面接の基礎4	情報を伝える力を養う②：薬の副作用の伝え方	B-2-1-1,5, F-5-1-7
6	医療面接の基礎5	治療アドヒアランスを高めるアプローチ	B-2-1-1～5
7	演習	医療面接のプロセス 症例：アレルギー疾患	B-2-1-1～5
8	演習	医療面接のプロセス 症例：糖尿病	B-2-1-1～5
9-14	演習	ロールプレイ、模擬患者への医療面接体験	B-2-1-1～5
15	総括	授業の振り返り、まとめ	

■授業分担者

常住亜衣子(No.1～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：授業内で全体へのフィードバック、情報共有を行う。

成績評価方法：レポート課題(50%)、演習(50%)

■教科書

指定しない。必要な資料を授業毎に配布する。

■参考書

日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会「ファーマシューティカルコミュニケーション」(南山堂)
石川ひろの「保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門」(大修館書店)

■その他

*演習の評価はルーブリックに基づいて行う。